

---

---

# 日本経済展望

2018年7月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

---

---

## 目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 4
◆トピックス	p. 8
◆見通し	
経済	p. 9
物価、金融政策、金利	p. 10
◆内外市場データ	p. 11

### 調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	（ Tel: 03-6833-6334 Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp ）
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	（ Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp ）
外需、短観	石田 宏一	（ Tel: 03-6833-2806 Mail: ishida.koichi@jri.co.jp ）
企業部門	菊地 秀朗	（ Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp ）
家計部門、雇用賃金	佐藤 貴憲	（ Tel: 03-6833-1694 Mail: sato.takanori@jri.co.jp ）
トピックス	菊地 秀朗	
金利	石田 宏一	
ファンダメンタルズ（現状分析）	浅野 洋介	（ Tel: 03-6833-6947 Mail: asano.tP31756@jri.co.jp ）

本資料は2018年7月4日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

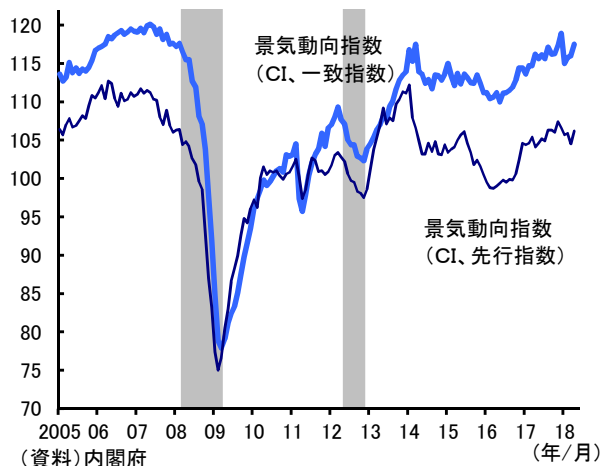
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

# 概況：景気は回復基調が持続

## 景気

一致指数は、耐久財および投資財出荷の回復を背景に、3ヵ月連続の上昇

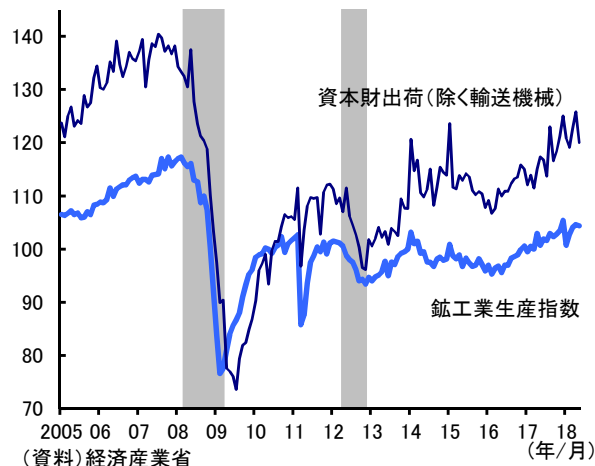
(2010年=100)



## 企業

鉱工業生産は輸送用機械の減少などで足踏み状態

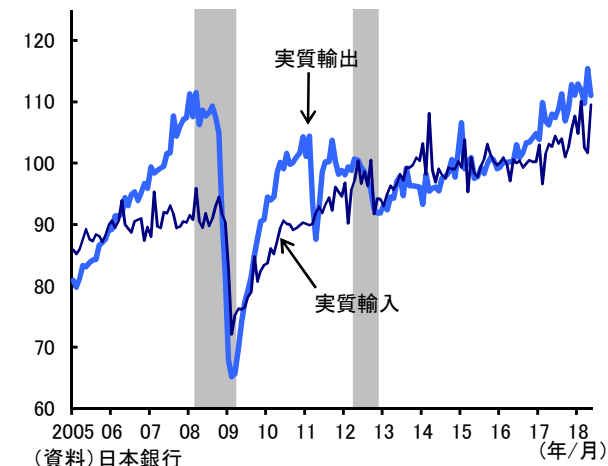
(2010年=100)



## 外需

輸出は資本財、化学製品が増加  
輸入は高めの伸びに

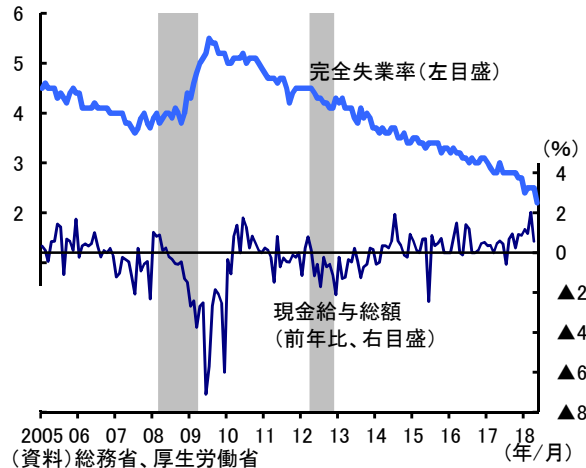
(2015年=100)



## 雇用所得

失業率はバブル期以来の低水準  
名目賃金は高めの伸びが持続

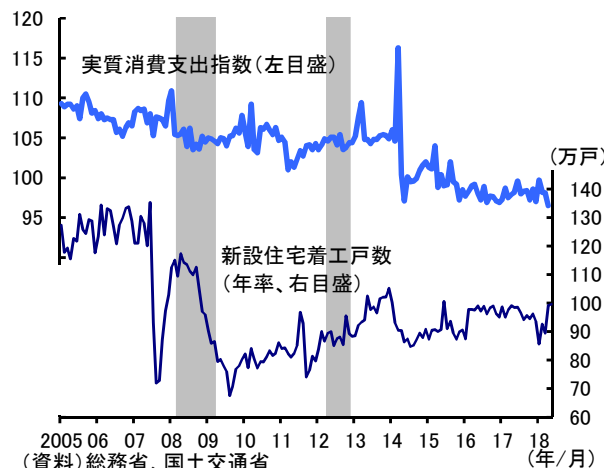
(%)



## 家計

実質消費は一進一退の動き  
住宅着工は分譲住宅が増加

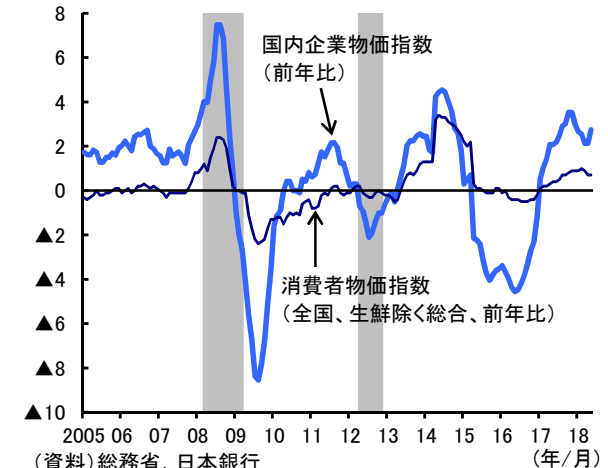
(2015年=100)



## 物価

原油高や円安により、企業物価は上昇  
消費者物価は伸びが鈍化

(%)



※シャドー部は景気後退期

# 鉱工業生産は足踏みが続く一方、家計部門は持ち直しの動き

## ◆鉱工業生産は足踏みが持続

5月の鉱工業生産指数は、前月比▲0.2%と4ヵ月ぶりの低下。前月大幅に低下した電子部品・デバイスは上昇に転じたものの、輸送用機械が大きく低下。6月の生産予測指数は前月比▲0.1%、7月は同+0.8%と横ばい圏内の動き。

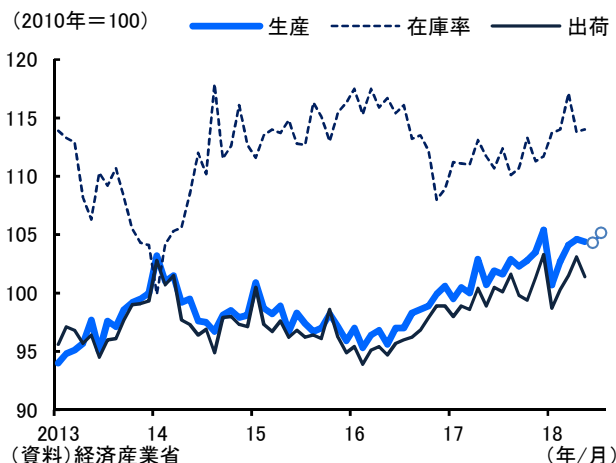
輸出は緩やかに増加。インフラ投資需要の拡大で、中国向けの資本財が堅調。もっとも、アジア諸国向けの電子部品・デバイスや米国向けの輸送用機械では減少。

## ◆家計部門は持ち直し

4月の消費総合指数は前月比+1.0%の上昇。天候の回復や生鮮食品価格の騰勢鈍化で家計の購買力が改善。雇用・所得環境の改善に支えられて、嗜好的サービスへの支出が増えるなど、家計部門に明るい動きが顕在化。

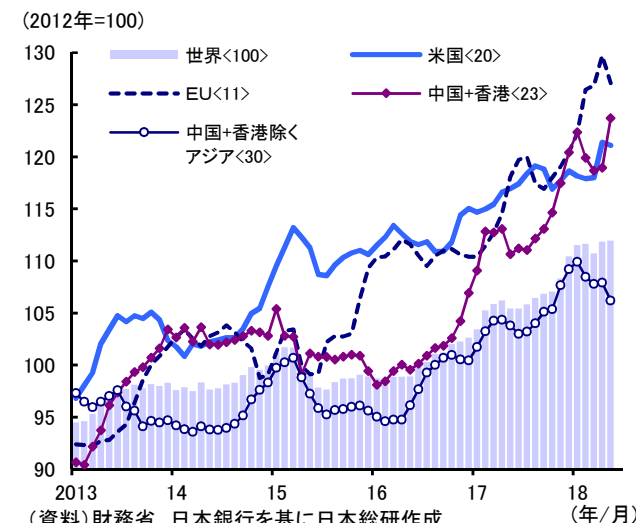
雇用環境をみると、雇用者数が増加基調を維持しており、5月の完全失業率は2.2%とバブル期以来25年7ヵ月ぶりの低水準。有効求人倍率も1.6倍と高水準を維持。人手不足の深刻化が続くなか、企業の堅調な採用意欲を背景に、非労働力から労働力へのシフトも女性を中心に進展。

鉱工業指数(季調値)



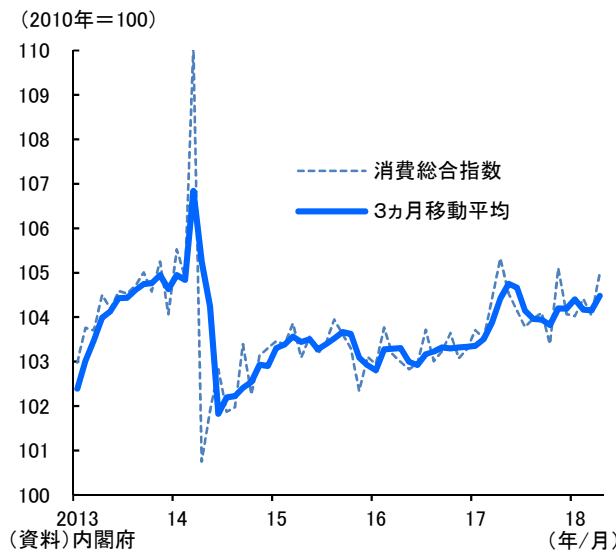
(資料)経済産業省  
(注)生産指数の白抜きは、6月分は経済産業省の先行き試算値、7月分は製造工業予測指数を基に先延ばし。

実質輸出(季調値)



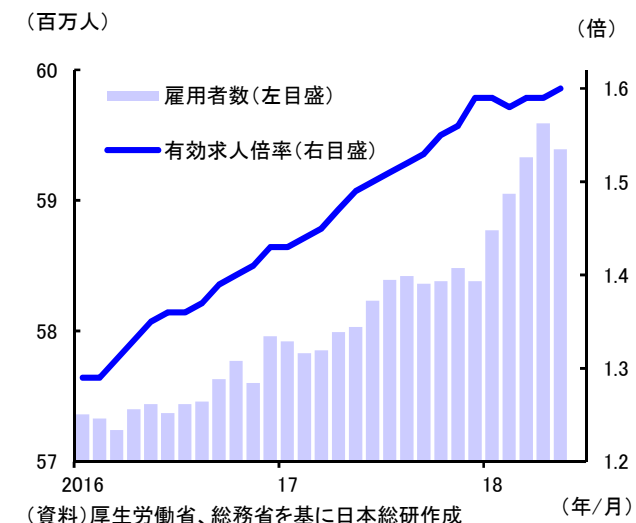
(資料)財務省、日本銀行を基に日本総研作成  
(注)後方3ヵ月移動平均。<>は2017年シェア。

消費総合指数(季調値)



(資料)内閣府

有効求人倍率と雇用者数(季調値)



(資料)厚生労働省、総務省を基に日本総研作成

# 日銀短観：原材料価格の上昇から景況感は悪化

## ◆業況判断DIは悪化

6月の大企業の業況判断DIは、製造業が前回調査対比▲3%ポイントと、2四半期連続の悪化。輸出の増勢鈍化や、原材料価格の上昇等を背景に、素材・加工業種とも総じて慎重化。

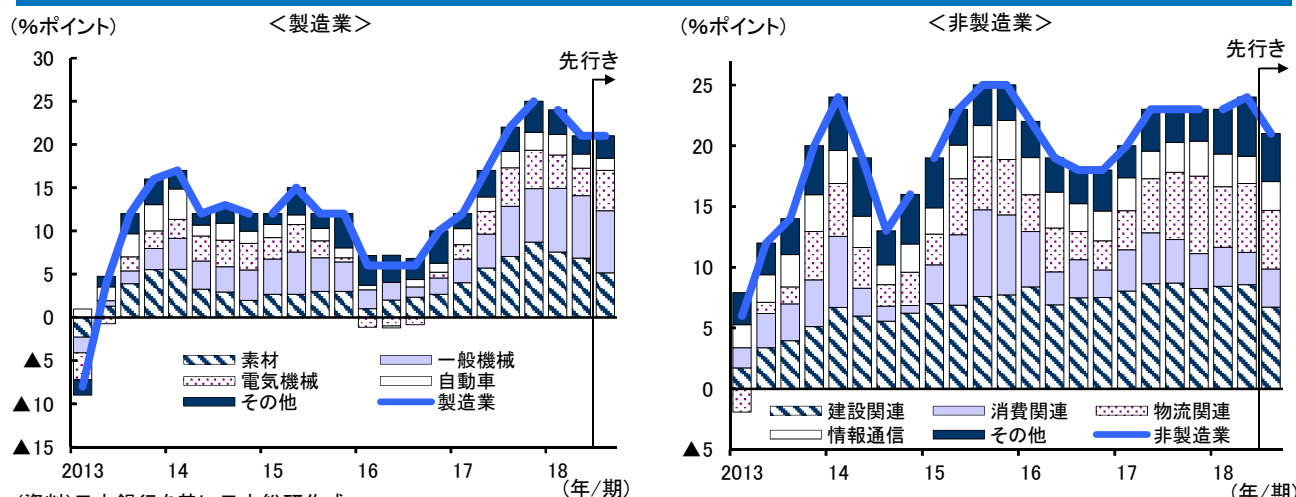
先行きも、堅調な企業収益が景況感の下支えに作用するものの、米国発の貿易摩擦の強まりに伴う輸出環境への懸念などから、マインド悪化に歯止めがかからない可能性。

一方、非製造業は同+1%ポイントと、2四半期ぶりの改善。建設関連が引き続き堅調なほか、販売価格へのコスト転嫁が進む物流関連、インバウンド需要が堅調な対個人サービス、宿泊・飲食サービスで上昇。

## ◆設備投資は堅調

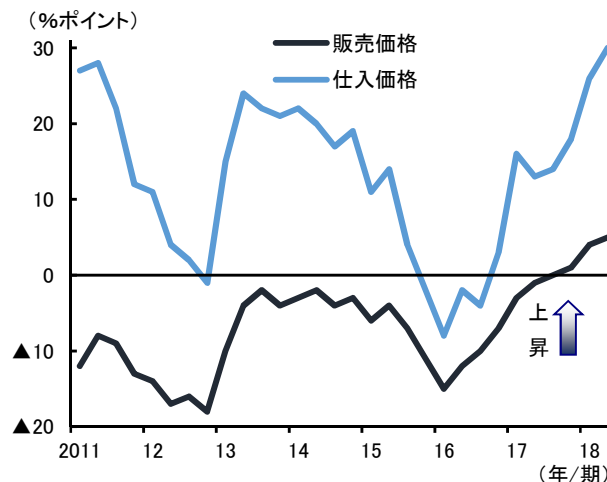
2018年度の設備投資計画は、例年よりもやや大きめの上方修正。海外経済の先行き不透明感はあるものの、企業収益が堅調なもとで、維持・更新、合理化・省力化投資を中心に、設備投資マインドは改善。とりわけ、中小企業・製造業では、設備投資に対する前向きな姿勢が鮮明に。

### 大企業の業況判断DI



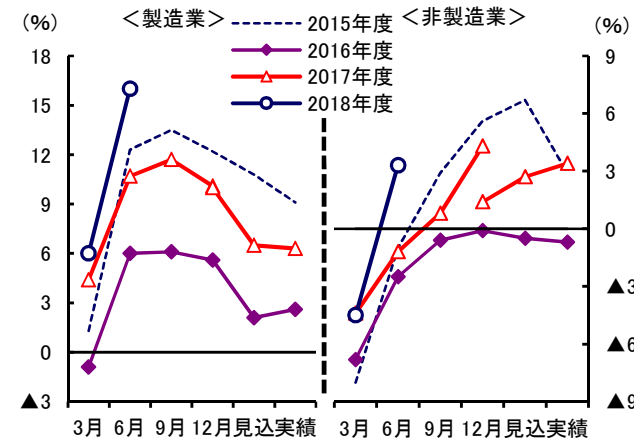
(資料)日本銀行を基に日本総研作成  
(注)2015年3月、18年3月は調査対象企業の見直しに伴い不連続。

### 大企業・製造業の販売・仕入価格判断DI



(資料)日本銀行

### 設備投資額の修正状況(全規模、前年度比)



(資料)日本銀行  
(注)土地投資額を含み、ソフトウェア、研究開発投資額を含まない。  
2017年12月は調査対象企業の見直しにより、新ベースと旧ベースのデータを併記。

# 輸出は緩やかに増加

## ◆財輸出は緩やかに増加

輸出は、財・サービスともに増勢持続。サービス輸出をみると、まず、悪天候や円高を背景に訪日外国人消費が横ばいとなったほか、知財権等使用料（受取）も増勢が一服。もっとも、訪日外客数の増勢に変化がないなか、一段の円高進行がなければ訪日外国人消費が再び拡大に向かうほか、海外直接投資の積極姿勢が維持されるなか、知財権等使用料（受取）も持ち直す見込み。

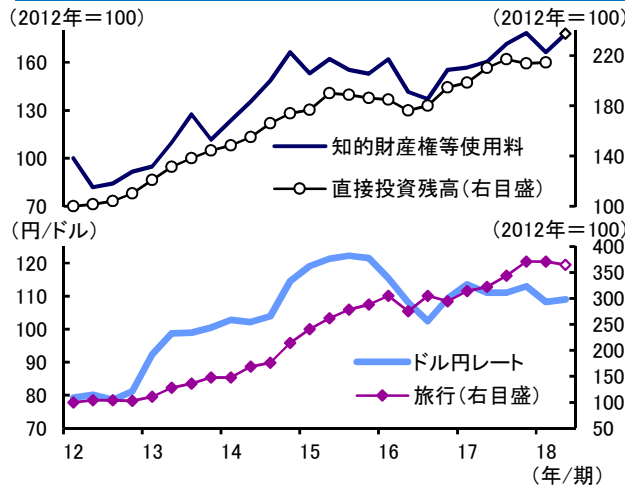
財輸出については、新型スマホの売上不振やアジア新興国における内製化の進展から、電子部品・デバイスの増勢が一服したものの、資本財が増加。先行きは、アジア新興国を中心とした製造設備の高度化やインフラ投資需要の拡大を背景に、生産用機械やインフラ関連財を中心に資本財輸出の増加が続く見通し。

## ◆米国の通商保護主義が懸念

ただし、米国トランプ政権の保護主義への傾斜とそれに端を発する貿易摩擦の激化がリスク。

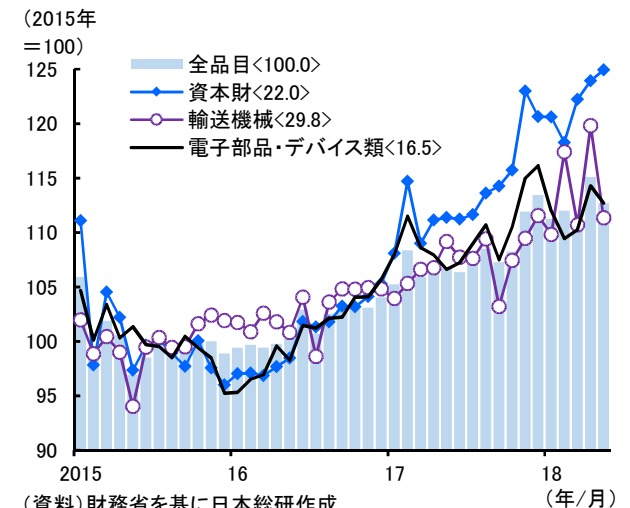
トランプ政権は、自動車および関連部品の関税を25%に引き上げる措置（現行2.5%）を検討。実現可能性は不透明ながら、実施された場合、直接的な効果としてわが国輸出を約8,000億円下押しする可能性。自動車産業は裾野が広く、部品、素材、商業、運輸業などの関連産業への波及効果を含めれば、2兆円超の生産下押しとなる可能性も。

## 経常収支のサービス受取（季調値）



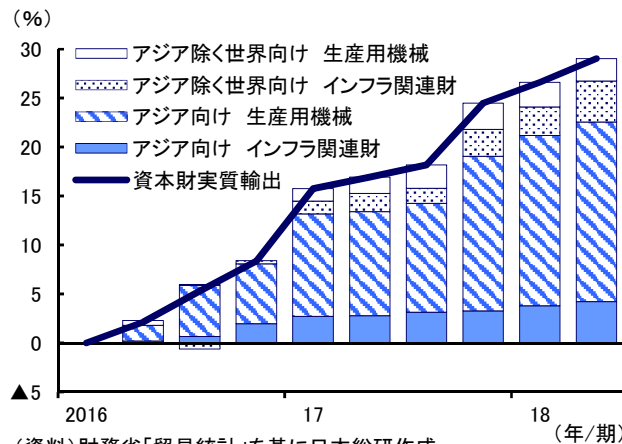
（資料）財務省、日本銀行  
（注）サービス受取の直近期は4月値。

## 品目別の実質輸出（季調値）



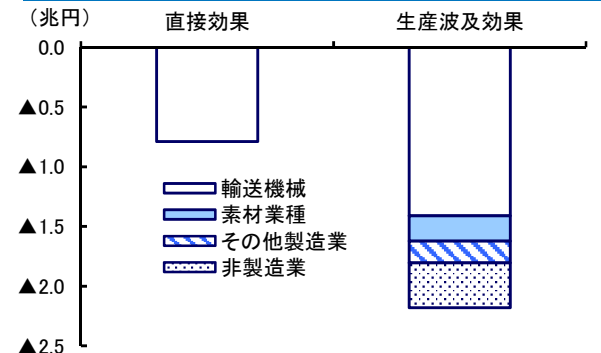
（資料）財務省を基に日本総研作成  
（注）<>内は、2017年名目輸出全体に占めるシェア。

## 資本財実質輸出（季調値、2016年Q1対比）



（資料）財務省「貿易統計」を基に日本総研作成  
（注）2018年Q2は4月値。インフラ関連財は建設・鉱山機械、荷役機械、原動機（内燃機関除く）、重電機器等。生産用機械は、金属加工機械等、その他の一般機械。

## 米国自動車関税引き上げの影響（試算）



（資料）Autodata、BLS、BEA、財務省、経産省等を基に日本総研作成  
（注）米国の実質所得（GDP）、輸入車の相対価格（輸送機械の消費者物価と輸入物価の比）を説明変数とした米国輸入車消費関数を推計。輸入物価が22%（1.25/1.025）上昇した場合の輸入車販売台数の減少分を基に、わが国の対米自動車輸出額の減少額を試算（＝直接効果）。生産波及効果は経産省「平成26年 延長産業連関表（平成23年基準）」を基に試算。

# 企業収益が堅調ななか、設備投資は増加基調

## ◆企業収益は堅調

企業収益は堅調が持続。東証上場企業の営業利益をみると、2017年度は大幅増益となったほか、2018年度についても、堅調な増益を予想する企業が多数。

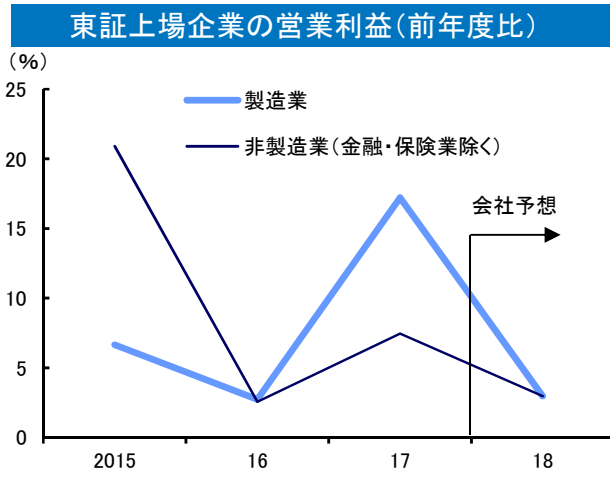
人手不足の深刻化を背景とした人件費の増加が収益下押し要因となるものの、変動費の抑制など、収益体質を強化してきた結果、損益分岐点比率が大きく低下し、売上の増加が利益の拡大に結びつきやすい構造に。

経常利益についても、高水準での推移が続く見込み。堅調な営業利益に加え、足許の為替水準が、想定為替レートに比べ円安で推移していることから、先行き、為替差益がプラスに作用する見込み。

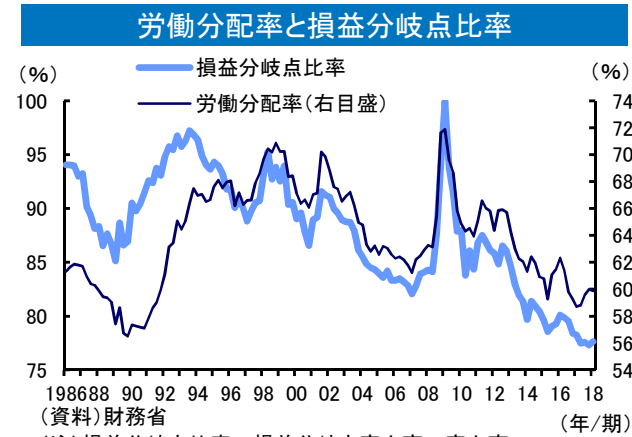
## ◆設備投資は増加基調

設備投資は、キャッシュフローが潤沢ななか、人手不足を背景とした合理化・省力化投資等を中心に増加基調。

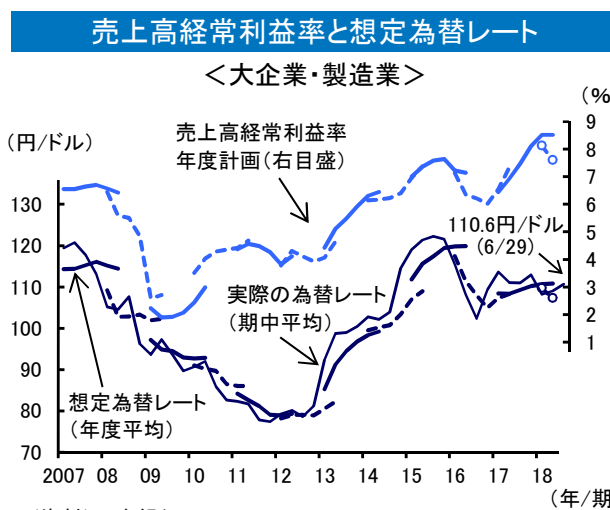
もともと、人口減少下で国内の成長見通しが高まりにくいなか、収益の改善に比べると設備投資の勢いは緩慢。さらに、米中貿易摩擦の激化や、それを受けた円高の進行などで、収益の先行きに対する不安が強まれば、設備投資意欲が減衰するリスクも。



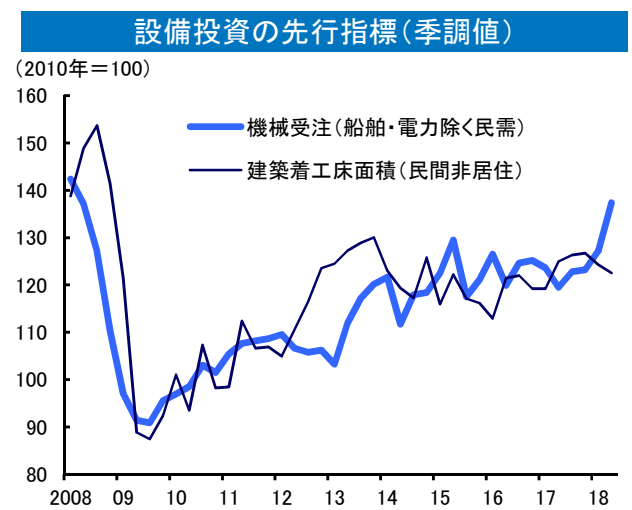
(資料)財務データベース「SPEEDA」を基に日本総研作成  
(注)2014年度実績から2018年度予想までを取得可能な東証1部、2部上場、12ヵ月決算企業、製造業1,025社、金融・保険業を除く非製造業983社を集計。2018年6月末時点。



(資料)財務省  
(注)損益分岐点比率=損益分岐点売上高÷売上高  
損益分岐点売上高=固定費÷(1-(変動費÷売上高))  
固定費=人件費+減価償却費+支払利息等  
変動費=売上原価+販管費-人件費-減価償却費  
労働分配率=人件費÷(経常利益+人件費+減価償却費+受取利息等)



(資料)日本銀行  
(注)売上高経常利益率年度計画と想定為替レートは、3月調査→6月調査→9月調査→12月調査→実績見込み→実績の順に各年度をプロット。直近○は18年度計画。



(資料)内閣府、国土交通省を基に日本総研作成  
(注)直近四半期は、機械受注が4月値、建築着工床面積が4~5月値。

# 所得は堅調に回復

## ◆改善続く雇用・所得環境

雇用情勢は改善が持続。2018年入り後、若年層（24歳以下）と高齢者（65～69歳）を中心とした非正規雇用の急拡大により、就業者数の増加ペースが加速。とりわけ、宿泊・飲食などサービス業での雇用拡大が顕著。足元では正規雇用者の拡大ペースも加速しており、雇用は質量ともに改善。

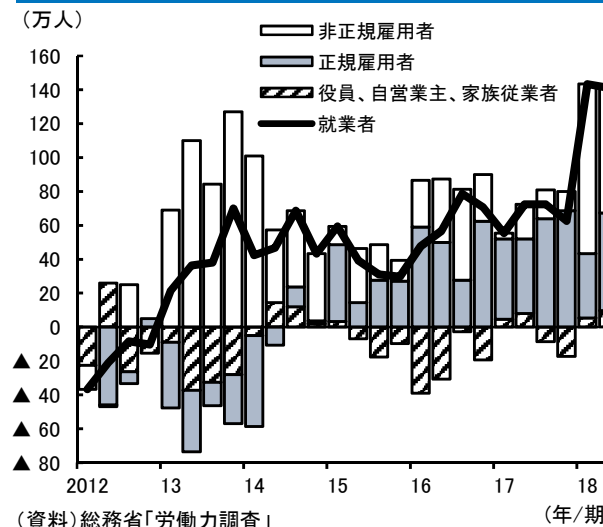
名目賃金の伸びもここにきて加速。フルタイム労働者における所定内給与の伸びの加速と、好業績を背景とした特別給与の増加が要因。

## ◆実質所得は堅調に拡大

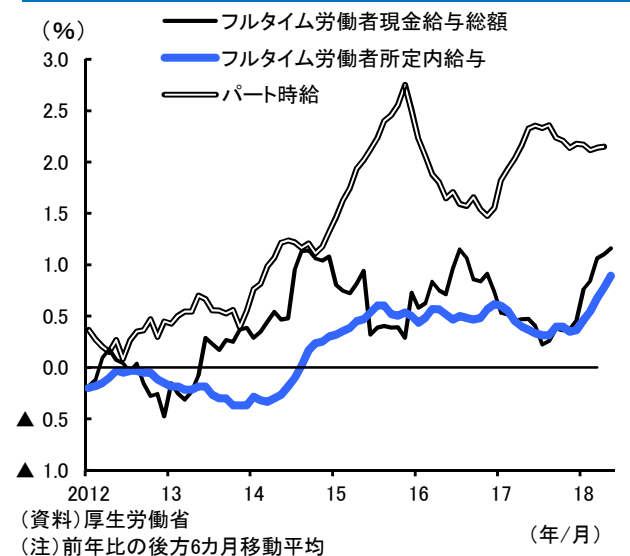
先行きを展望すると、景気回復を受けて雇用、名目賃金ともに改善が続く見込み。企業の人手不足感は一段と強まっているため、労働需給は引き続き逼迫した状況が続く公算大。今年の春闘賃上げ率がここ数年では高めの水準となったことから、名目賃金も高めの伸びが続く見通し。

さらに、2018年1～3月期の実質所得を押し下げた物価上昇圧力もピークアウト。当面、実質雇用者報酬は前年比2%台の伸びが続くと予想。

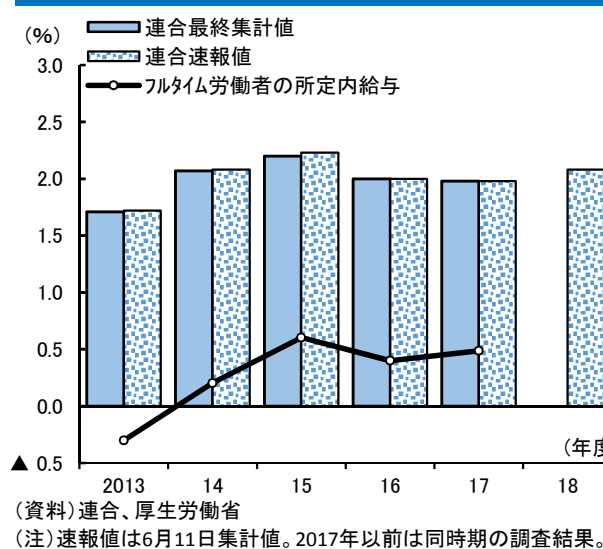
### 就業者数(前年差)



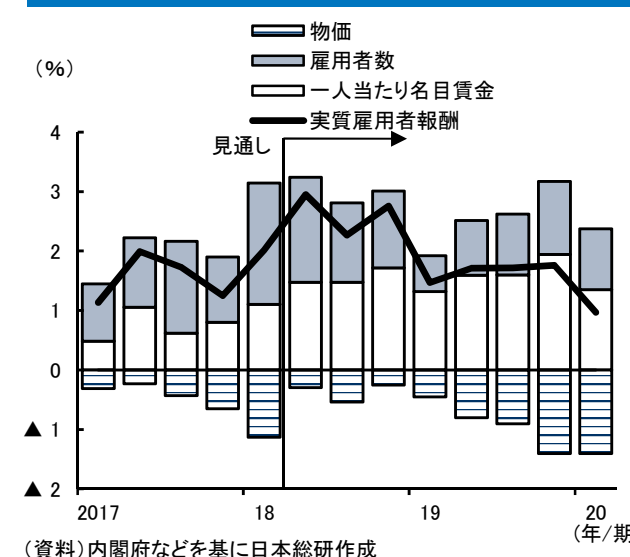
### 賃金上昇率(前年比)



### 春闘賃上げ率と賃金上昇率



### 実質雇用者報酬(前年比)





# 個人消費は持ち直し

## ◆個人消費は持ち直しの動き

4月以降、個人消費は持ち直し。1～3月期に野菜価格高騰と大雪・寒波による買い控えで減少した非耐久財は、4月にはプラスに転換。サービス消費も好調に推移。天候要因などで上下に振れやすくなっているものの、個人消費は持ち直し傾向が続いていると判断。

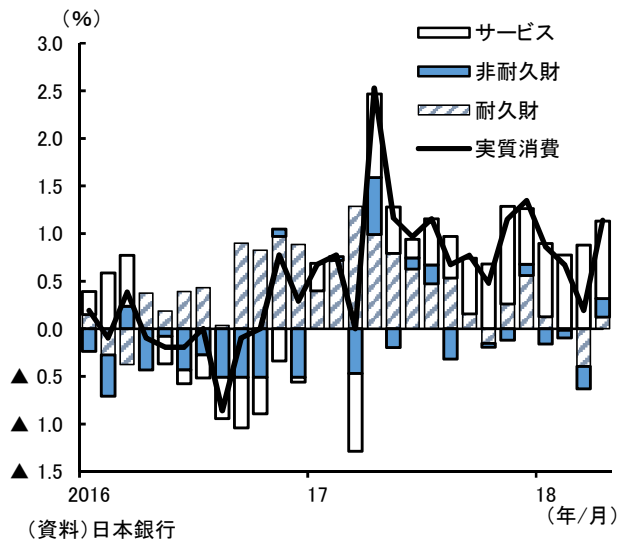
先行きを展望すると、雇用・所得環境が改善していくことから、個人消費は緩やかに持ち直していく見通し。

## ◆住宅投資は弱い動きが持続

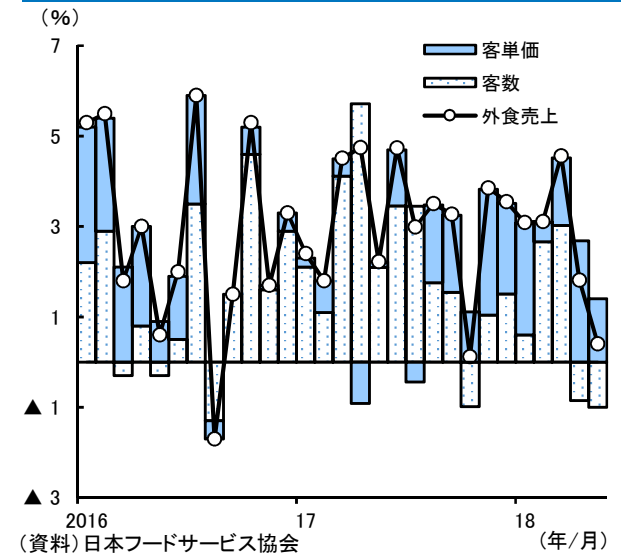
5月の住宅着工戸数は、大阪での分譲マンション着工の集中より、2カ月連続で前年比プラス。

先行きを展望すると、雇用・所得環境の改善に加え、2019年10月の消費増税前の駆け込み需要を背景に、持家は持ち直していく見込み。一方、一時的に増加した分譲住宅の着工水準が下がるほか、貸家の低迷も続くため、住宅着工全体では弱い動きが続く見通し。とりわけ、貸家では、一部のサブリース契約の問題化や、空室率の上昇を受けた供給過剰懸念などを背景に、前年割れが続く見込み。

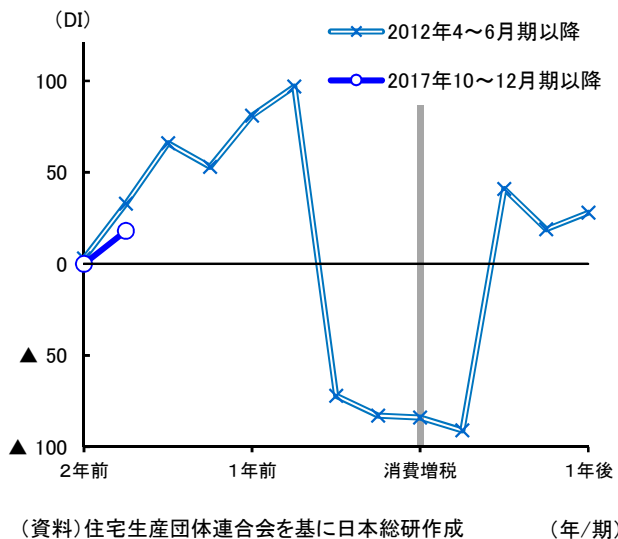
日銀消費活動指数(前年比)



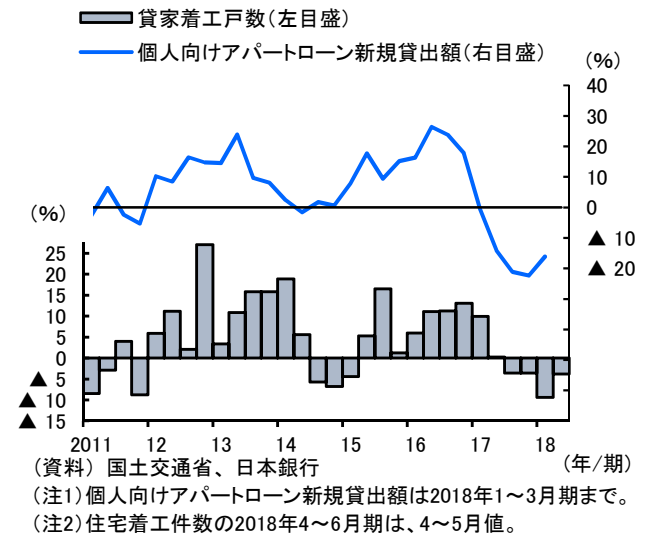
外食産業売上高(前年比)



住宅景況判断指数(戸建注文住宅)



貸家着工とアパートローン(前年比)



# トピックス：半導体輸出に中国内製化の逆風

## ◆電子デバイス輸出の増勢は緩やか

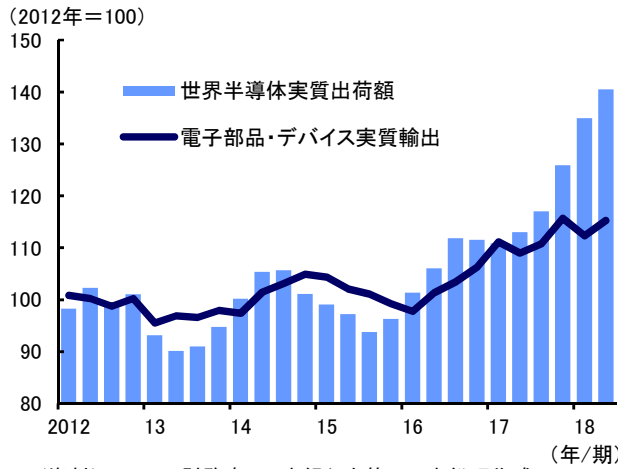
わが国電子部品・デバイス輸出は、世界の半導体需要の拡大ペースに比べて、増勢が緩慢。この背景として、①世界の需要拡大をけん引しているメモリ市場における、わが国企業のシェア低下、②わが国製品を多く使用しているスマートフォン関連の需要下振れ、などを指摘可能。

## ◆中国の内製化が重し

先行きを展望すると、メモリ需要の拡大のほか、IoT関連や車載向けなど、技術革新に伴う半導体需要の裾野の広がりから、世界の半導体市場は堅調な伸びが見込まれるため、わが国電子部品・デバイスの輸出も増勢が続く見込み。

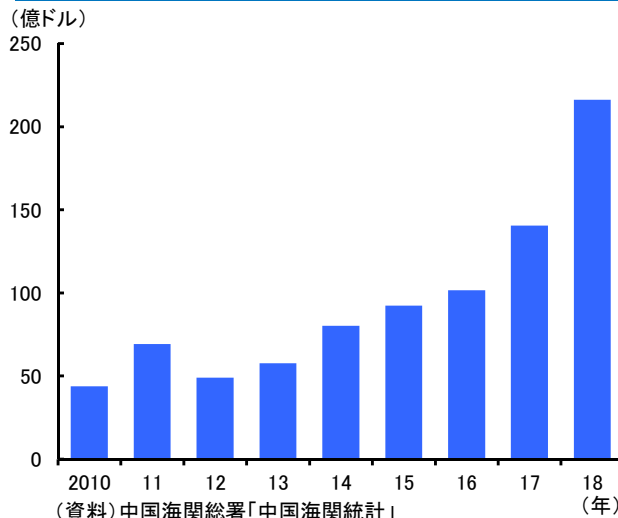
もっとも、世界の半導体需要をけん引している中国での内製化の進展から、世界需要の拡大を上回るペースでの輸出増加は期待薄。中国は、「中国製造2025」の産業政策の下、半導体の国産化を推し進める方針。実際、半導体製造装置の輸入が大幅に増加しており、供給能力は大きく拡大。この結果、ここ数年、半導体生産が半導体輸入を大きく上回って推移。このため、中長期的にわが国の電子部品・デバイス輸出への逆風が強まる恐れ。

## 世界半導体市場と電子部品・デバイス輸出



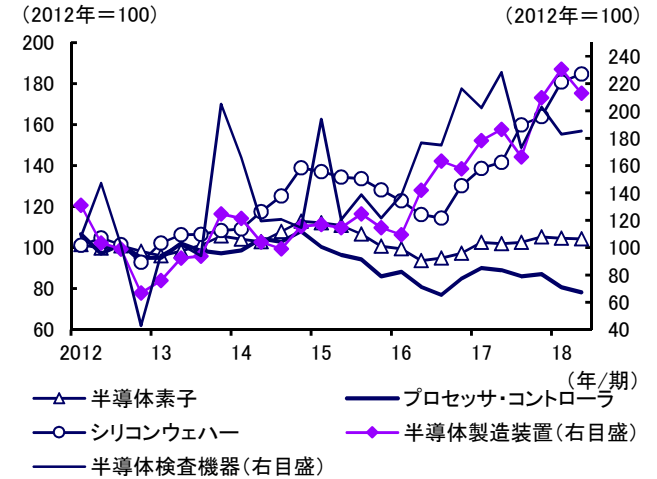
(資料)WSTS、財務省、日本銀行を基に日本総研作成  
(注)直近は輸出が2018年4~5月値。世界市場が4月値。ともにわが国半導体等輸物価指数で実質化。

## 中国の半導体等製造装置輸入額



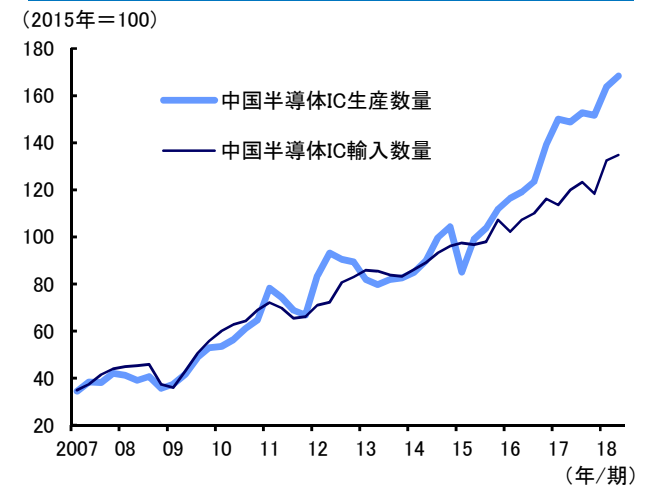
(資料)中国海関総署「中国海関統計」  
(注)2018年は1~4月値を年率換算。

## 半導体関連輸出額(季調値)



(資料)財務省「貿易統計」、JEITAを基に日本総研作成  
(注)直近は4~5月値。

## 中国の半導体生産・輸入(季調値)



(資料)中国国家統計局、中国海関総署を基に日本総研作成  
(注)個数ベース。直近は4~5月値。

# 底堅い内外需を背景に、景気回復が続く見通し

## ◆潜在成長率を上回る成長が持続

先行きを展望すると、電子部品関連を中心とした在庫調整が生産活動を下押しする見込み。もっとも、海外経済の堅調な成長を背景に、輸出の増加基調が続くとみられるなか、企業の生産活動が腰折れする可能性は小さいと判断。設備投資も、都市部の再開発や物流施設の新設など建設投資に加え、設備の老朽化に伴う更新需要や人手不足を背景とした省力化投資の活発化もプラスに作用。

一方、家計部門についてみると、企業が人件費の拡大に前向きになるなか、所定内給与の上昇ペースがやや高まるなど、所得環境は着実に改善。足許では、生鮮食品価格の騰勢も一服しており、年明け以降低迷していた個人消費は緩やかな増加ペースに復帰する見込み。

結果として、2018年度は、1%程度とみられる潜在成長率を上回る成長が続く見通し。

## ◆2019年度も1%近い成長を維持

2019年度は、10月に予定されている消費増税に伴う購買力の低下が個人消費を下押しすることで、成長率が鈍化。もっとも、今回は2014年と比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、所得税・社会保障関連の負担増も小さいことから、個人消費の大幅な落ち込みは回避される見通し。結果として、1%近い成長は維持できる見込み。

## わが国主要経済指標の予測値(2018年7月4日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	7~9 (実績)	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3				
実質GDP	2.0	1.0	▲0.6	1.7	1.9	1.6	1.6	1.4	2.3	▲3.6	1.3	1.2	1.6	1.3	1.0
個人消費	▲2.7	1.3	▲0.3	1.9	1.6	1.5	1.5	1.8	5.2	▲9.1	1.3	0.3	0.9	1.0	0.8
住宅投資	▲6.3	▲10.3	▲7.2	▲6.6	0.3	3.3	6.5	1.9	▲2.4	▲9.8	▲7.2	6.2	▲0.3	▲3.9	▲0.1
設備投資	4.1	2.8	1.3	3.9	4.2	4.2	3.6	3.0	2.7	2.3	2.3	1.2	3.2	3.4	3.1
在庫投資 (寄与度)	( 1.4)	( 0.6)	(▲0.7)	(▲0.2)	(▲0.1)	( 0.2)	( 0.0)	(▲0.1)	(▲0.5)	( 0.3)	( 0.3)	(▲0.3)	( 0.1)	( 0.0)	(▲0.0)
政府消費	0.2	0.2	0.4	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.7	0.6	0.7
公共投資	▲10.1	▲1.7	▲0.5	2.9	5.1	▲6.4	▲1.4	0.0	1.0	0.5	0.3	0.9	1.4	▲0.1	▲0.4
純輸出 (寄与度)	( 2.2)	(▲0.4)	( 0.2)	( 0.2)	( 0.1)	( 0.1)	(▲0.0)	(▲0.1)	(▲0.7)	( 1.1)	( 0.0)	( 0.8)	( 0.4)	( 0.2)	(▲0.0)
輸出	8.2	9.2	2.6	3.1	3.1	3.3	3.3	3.2	3.0	2.8	2.8	3.6	6.2	4.0	3.1
輸入	▲5.2	12.9	1.2	2.2	2.8	3.1	3.6	3.9	6.8	▲3.3	2.9	▲0.8	4.0	3.1	3.2

(前年同期比、%)

名目GDP	2.1	2.0	1.6	0.9	0.8	1.3	2.4	2.5	2.8	1.8	1.8	1.0	1.7	1.3	2.2
GDPデフレーター	0.1	0.1	0.5	▲0.3	▲0.2	0.1	0.7	0.9	1.0	1.4	1.4	▲0.2	0.1	0.1	1.2
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.9	2.0	▲0.2	0.7	1.0	1.5
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	▲0.2	0.7	1.0	1.0
鉱工業生産	3.9	4.6	2.3	2.9	1.1	0.3	1.4	0.4	0.8	0.8	0.6	1.1	4.1	1.4	0.7

完全失業率 (%)	2.8	2.7	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	3.0	2.7	2.4	2.3
経常収支 (兆円)	7.01	4.33	5.81	4.49	6.75	3.95	6.56	4.83	6.84	3.89	6.73	21.02	21.74	21.76	22.29
対名目GDP比 (%)	5.2	3.0	4.2	3.3	5.0	2.7	4.7	3.5	4.9	2.6	4.7	3.9	4.0	3.9	3.9
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	108	109	110	110	111	111	110	110	109	108	111	110	110
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	58	67	71	73	70	68	68	68	68	68	47	57	71	68

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを  
基に日本総研作成

## 海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年	2018年	2019年
	(実績)	(予測)	(予測)
米国	2.3	2.8	2.5
ユーロ圏	2.4	2.1	1.7
中国	6.9	6.8	6.7

## 過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度	2018年度	2019年度
	(予測)		
4月号	1.8	1.2	0.9
5月号	1.8	1.2	0.9
6月号	1.5	1.1	0.9

# 物価は前年比+1%近傍、長期金利はゼロ%近辺で推移

## ◆物価は横ばい圏内の動き

コアCPI上昇率は、2017年1月に前年比プラス転化後、ジリ高傾向が続いていたものの、エネルギー価格の騰勢鈍化や家庭用耐久財の値下がりなどを背景に、横ばい圏内の動き。

先行きは、雇用・所得環境の改善により、需給面からの上昇圧力は強まるものの、エネルギー価格の騰勢鈍化が響き、コアCPIは日銀の目標を下回る状況が続く見込み。

## ◆短期金利は現行水準を維持

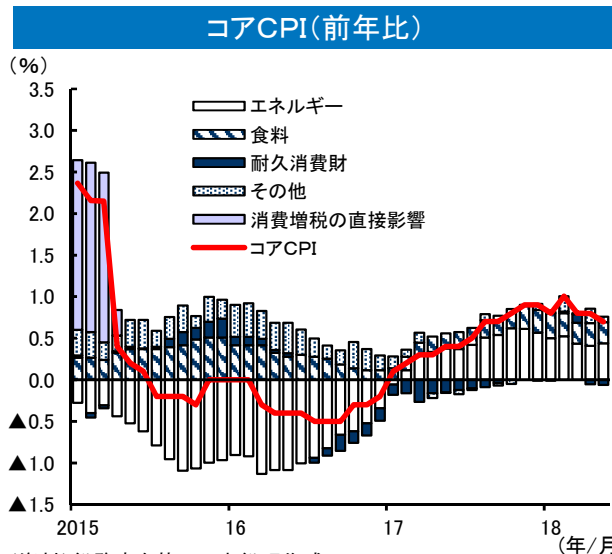
日銀は、2018年6月の金融政策決定会合で、現状の金融政策の維持を決定。10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢を継続。

政策金利については、過度な円高が進むなどの情勢の急変がない限り、当面、現行水準（▲0.1%）を維持する見込み。

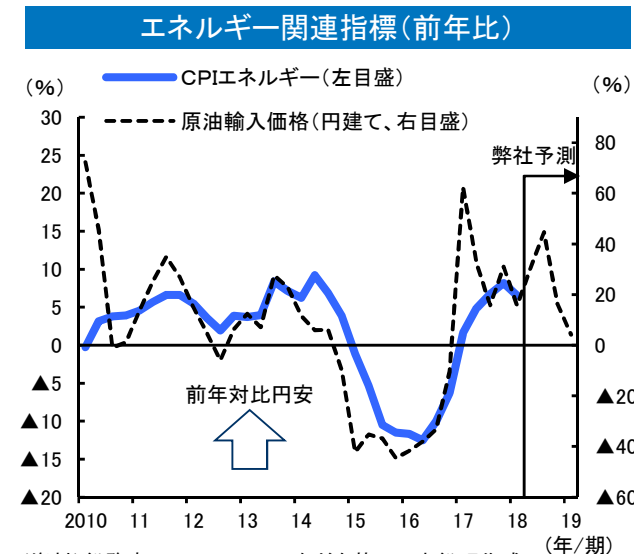
## ◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

長期金利は、現行の緩和姿勢が維持されるとの認識から、概ね横ばいで推移。もっとも、6月中旬以降は米中貿易戦争への懸念の高まりから、安全資産である国債が買われ、0.03%程度まで低下。

先行きは、米国長期金利の上昇に伴い上振れ圧力が高まるものの、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、0%近辺での推移が続く見通し。

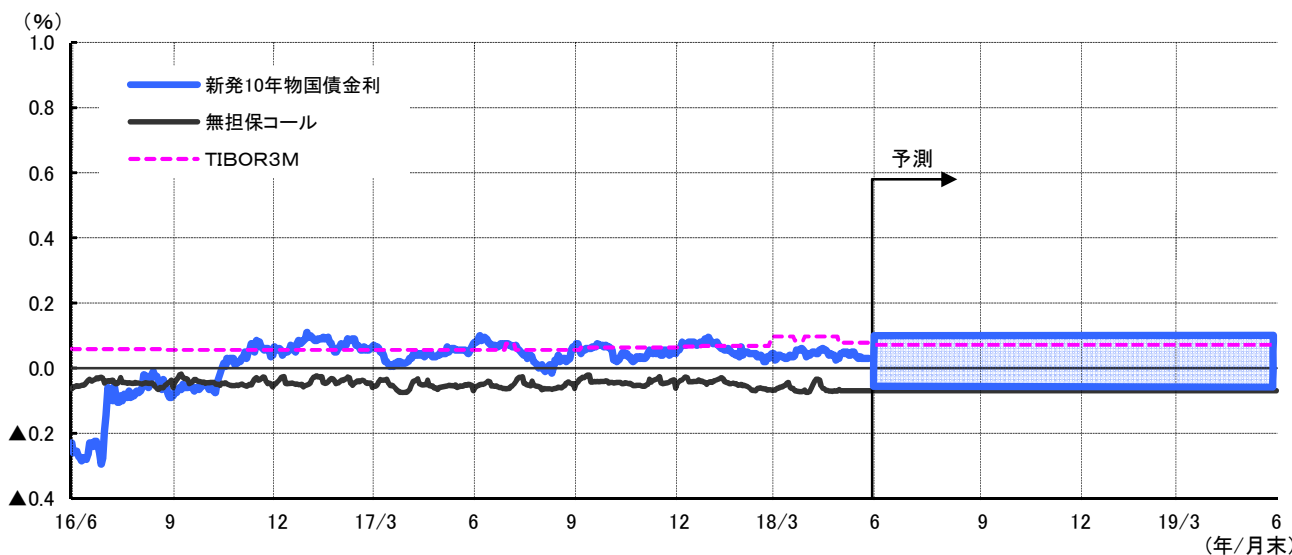


(資料)総務省を基に日本総研作成  
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。



(資料)総務省、Bloomberg L.P.などを基に日本総研作成  
(注)CPIエネルギーの直近は2018年1～3月期実績値。

## わが国主要金利の見通し



# 内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Yダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.26	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.74	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.16	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36
17/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	112.93	133.68	22769.89	1809.61	1.30	1.60	2.41	24545.38	▲ 0.33	0.35
18/1	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.28	▲ 0.13	0.08	1.48	1.00	110.97	135.28	23712.21	1882.57	1.41	1.73	2.57	25804.02	▲ 0.33	0.55
18/2	▲ 0.04	0.07	0.12	0.05	0.12	0.29	▲ 0.15	0.07	1.48	1.00	107.86	133.14	21991.68	1766.57	1.42	1.87	2.86	24981.55	▲ 0.33	0.72
18/3	▲ 0.06	0.07	0.12	0.05	0.10	0.26	▲ 0.15	0.05	1.48	1.00	106.10	130.87	21395.51	1716.27	1.51	2.17	2.84	24582.17	▲ 0.33	0.59
18/4	▲ 0.06	0.09	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.14	0.05	1.48	1.00	107.62	132.08	21868.79	1737.42	1.69	2.35	2.87	24304.21	▲ 0.33	0.55
18/5	▲ 0.06	0.10	0.13	0.05	0.11	0.27	▲ 0.13	0.05	1.48	1.00	109.71	129.59	22590.05	1783.96	1.70	2.34	2.98	24572.53	▲ 0.33	0.52
18/6	▲ 0.07	0.08	0.12	0.05	0.11	0.26	▲ 0.13	0.04	1.48	1.00	110.13	128.55	22562.88	1762.48	1.82	2.33	2.91	24790.11	▲ 0.32	0.40